



株式会社Eco-Pork

会社説明

株式会社Eco-Porkは、「データを用いた循環型豚肉経済圏の共創」をミッションに掲げ、テクノロジーで畜産業界の変革を目指すAgriTech企業です。深刻化する食肉文化の需給問題や環境問題に対し、養豚分野から持続可能なエコシステム構築に取り組んでいます。

2017年の設立以来、代表取締役の神林隆氏を中心に、テクノロジーが遅れているとされる養豚業界の課題解決に尽力してきました。同社が開発・提供する主要サービスは、クラウド型養豚経営支援システム**「Porker」**です。これは、ICT（情報通信技術）、IoT（モノのインターネット）、AI（人工知能）を統合的に活用し、豚舎内の生産状況をデータ化・可視化することで、生産管理の最適化と環境負荷の軽減を実現します。

具体的には、全自動体重測定AI豚カメラや、飼養環境を見える化する各種センサーを開発し、「Porker Connect」と呼ばれる豚舎内ネットワーク敷設サービスでこれらを連携させます。これにより、豚の生育データ、飼育環境データ、経営データを一元管理し、経験や勘に頼りがちだった養豚を、データに基づいた科学的なマネジメントへと進化させます。

Eco-Porkの事業は、単なる生産効率の向上に留まりません。彼らのビジョンは、資源だけでなく「いのちまでも無駄にされてきた」食用豚肉生産・流通の全プロセスをデータによって改善し、環境資源への思いやりと食の多様性への敬意をベースにしたエコシステムを構築することです。これは、国際的な社会課題であるGHG（温室効果ガス）排出量の削減にも貢献しており、近年では養豚DXとカーボンプレジットを組み合わせた事業展開を通じて、世界の畜産変革をリードしています。

同社は、東京都千代田区に本社を置き、資本金は約2.48億円。世界規模の社会課題に挑む仲間を積極的に募集しており、技術開発を行うエンジニアや、内外と連携して新たなビジネスモデルを創出するプロダクト/プロジェクトマネージャーなど、多岐にわたる人材が活躍しています。Eco-Porkは、食肉文化を次世代に繋ぎ、ゆとりある社会を実現するため、養豚に関わる全ての人や組織と連携し、持続可能な未来の共創を目指しています。

会社概要

本社所在地

日本

事業内容

ICT、IoT、AIを活用したクラウド型養豚経営支援システム「Porker」の開発・提供。データを用いた循環型豚肉経済圏の共創と、養豚生産のDX（デジタルトランスフォーメーション）を通じた環境負荷の軽減。

代表取締役

神林 隆

設立年

2017年

資本金

248,570,000円

従業員数

11 - 50人

URL

<https://www.eco-pork.com/>

オフィス情報

メインオフィス

〒1050054

東京都千代田区 神田錦町3丁目21-7

クレスト竹橋ビル2階